

汚染水浄化処理の状況等について

2015年 5月 26日

東京電力株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー
福島第一原子力発電所



東京電力

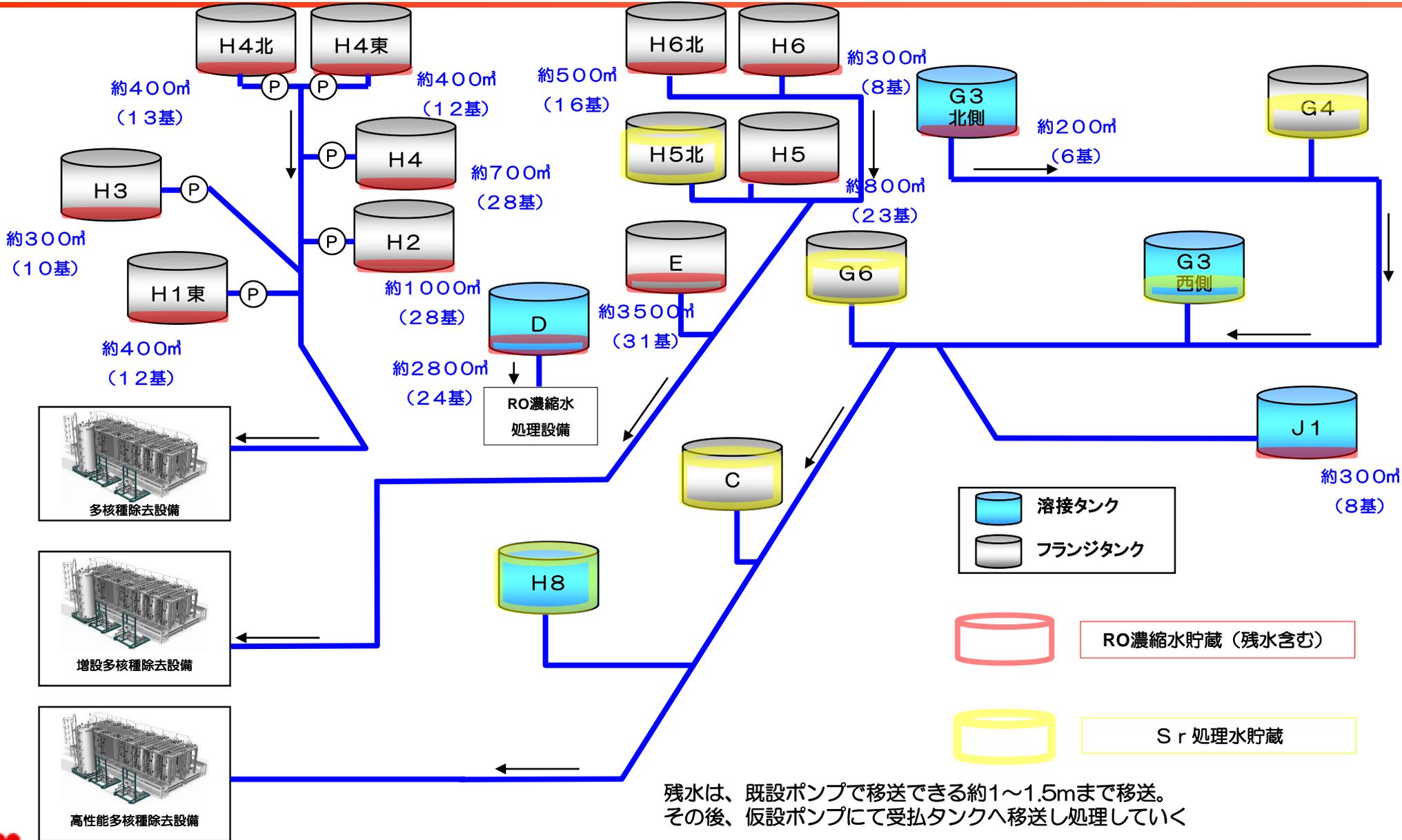
1. 各汚染水浄化処理設備の運転状況等

■各汚染水浄化処理設備の運転状況等

設備名	処理実績累計 2015.5.14時点	稼働率 4/1~4/30 5/1~5/21	現在及び今後の処理エリア	トピックス	合計処理量
既設多核種 除去設備	約249,000m ³	59%	H3 (RO濃縮塩水)	・運転継続中 H3タンク滲み発生による 構成変更で一時停止(5/9 ~5/12)	約431,000m ³
高性能多核種 除去設備		50%			
増設多核種 除去設備	約53,000m ³	75%	G6・G4 (Sr処理水)	・運転継続中 ・4/14 RO濃縮水処理終了	
高性能多核種 除去設備		54%			
増設多核種 除去設備	約129,000m ³	77%	E (RO濃縮塩水)	・運転継続中 海水成分の多いRO濃縮水 処理実施中	
増設多核種 除去設備		68%			
モバイル型ストロンチ ウム除去装置 (A系)	約47,000m ³	—	G4南、G6南C (Sr処理水)	・運転継続中	約163,000m ³
モバイル型ストロンチ ウム除去装置 (B系)		—	H5北 (Sr処理水)	・運転継続中	
第二モバイル型ストロ ンチウム除去装置		—	CA、CB、G6北A/B、G6南D (Sr処理水)	・運転継続中	
セシウム吸着処理装置	約49,000m ³	—	—	・運転継続中	
第二セシウム 吸着処理装置		—	—	・運転継続中	
RO濃縮水処理装置	約67,000m ³	—	D (RO濃縮塩水)	・運転継続中	

■スロッシング対策については、全エリアのタンクについて完了

2-2. RO濃縮水の残留状況(2015. 5月末予想)

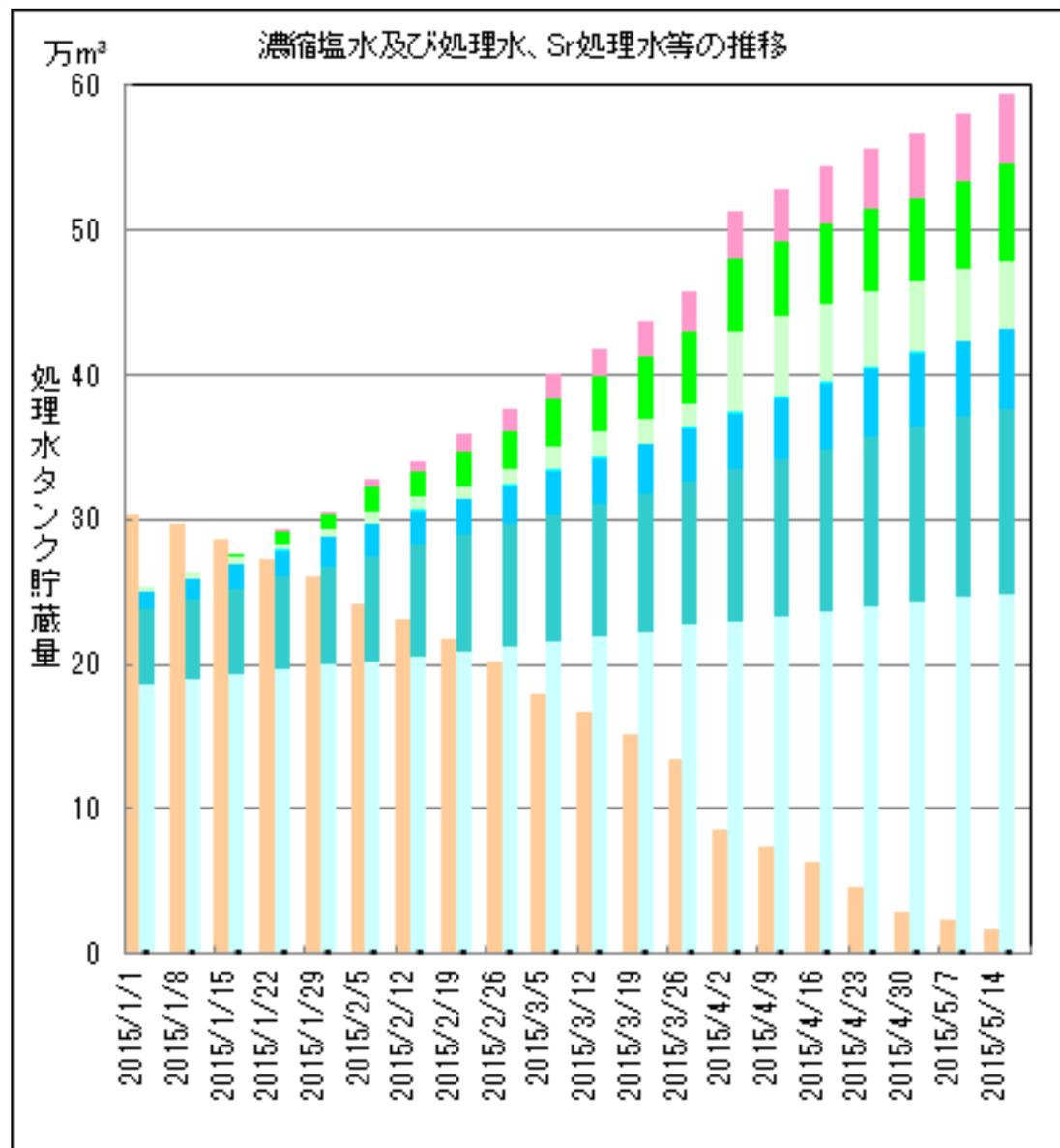


2-1. 濃縮塩水及び処理水等の推移

■ 汚染水処理の状況

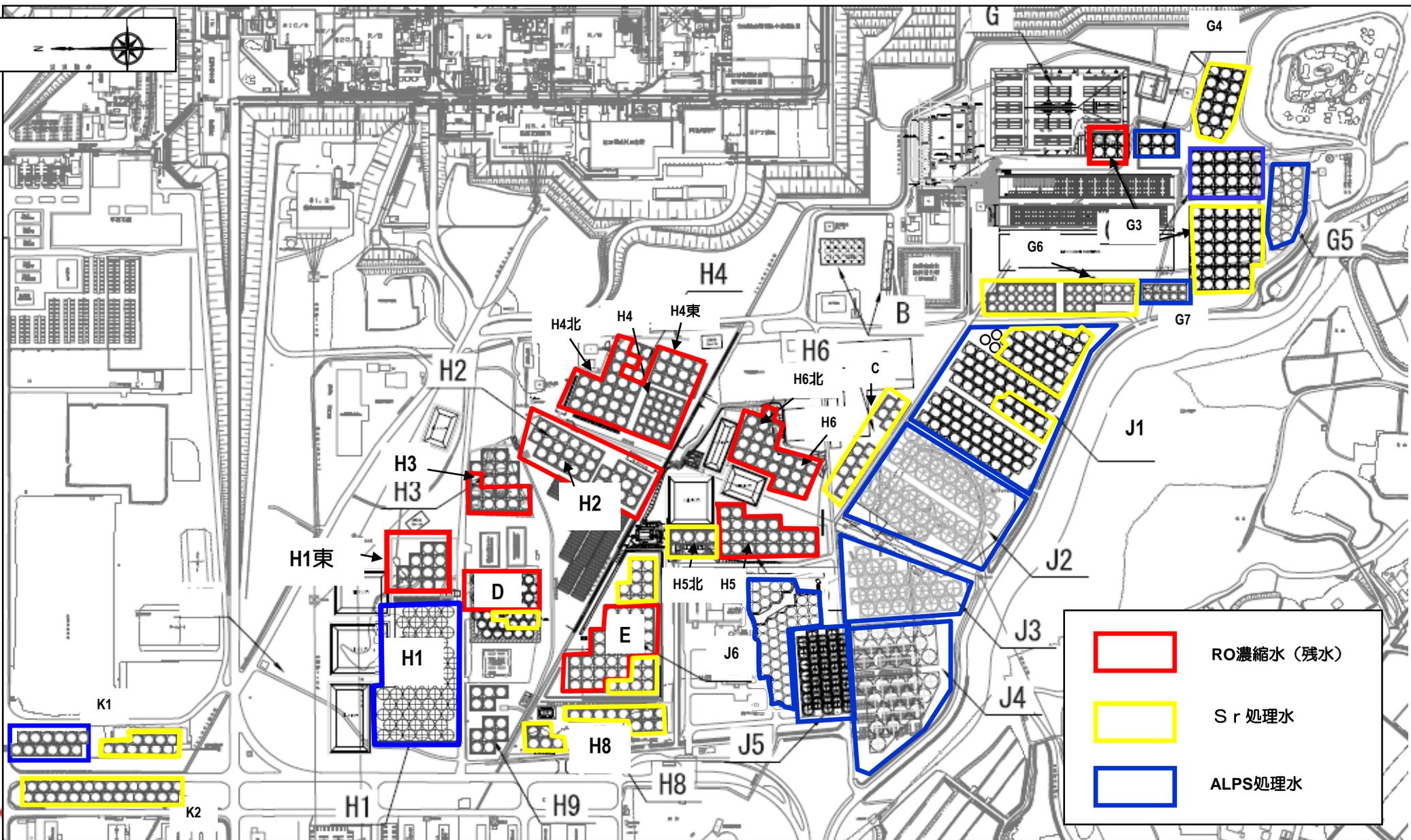
- タンクに起因する敷地境界実効線量（評価値）は、3月末に「1mSv/年未満」を達成（RO濃縮塩水の処理は3月末時点で約8割）。
- RO濃縮塩水の処理は、事故後、早い段階で発生した海水成分の多い汚染水を除き、5月末までに完了する予定。5/21現在でRO濃縮塩水は0.9万t
- タンク底部には、ポンプでくみ上げきれない残水が発生。残水処理にあたっては、安全を最優先に考え、ダストの飛散防止・被ばく防止対策等を十分に施しながら、タンク解体時等に処理。5/21現在で残水は0.95万 t

- Sr処理水等(セシウム／第二セシウム吸着装置)
- Sr処理水等(RO濃縮水処理設備)
- Sr処理水等(モバイル型Sr除去装置)
- 処理水(高性能 検証試験装置)
- 処理水(高性能多核種除去設備処理済水)
- 処理水(増設多核種除去設備処理済水)
- 処理水(既設多核種除去設備処理済水)
- 濃縮塩水



2-3. 各エリアの貯蔵水

2015.5月末予想



3. 今後の処理について

- 多核種除去設備以外で処理をした「ストロンチウム処理水」や、多核種除去設備で処理した水のうち、過去の装置トラブル時に処理性能が低下した際の処理水については、再度処理を行いさらなるリスク低減を図る。また、最終的な処分方法の検討に合わせ、上記以外の処理水についても、さらなる処理を検討する。
- 日々建屋に流入する地下水等についても、セシウム吸着装置及び第二セシウム吸着装置でストロンチウム処理水にした後、多核種除去設備で処理を継続。今後も、地下水については、さらに対策を講じて建屋への流入量を低減し、建屋内滞留水の処理・低減にも取り組んでいく。